

令和7年度水質検査結果(平川)

(浄水)

鹿児島県工業用水道部工業用水課

試験項目	規定期間	標準値	工業用水協会 標準値	R6年度 平均値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 平均値
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 水温(°C)	常温	—	20.3	19.6	21.0	22.3	24.4	24.8	24.3	23.2	20.3						22.5
2 濁度	20度以下	20mg/l以下	0.7	0.3	0.5	0.7	0.5	0.6	0.7	0.6	0.7						0.6
3 pH	6.0以上 8.0以下	6.5~8.0	7.2	7.2	7.2	7.1	7.1	7.1	7.1	7.2	7.2						7.2
4 酸消費量(mg/l)	—	75以下	32	31	30	32	32	31	32	32	34						32
5 全硬度(mg/l)	—	120以下	81	59	73	77	76	82	86	76	81						76
6 全蒸発残留物(mg/l)	—	250以下	177	148	164	185	198	178	194	187	199						182
7 塩化物イオン(mg/l)	—	80以下	14.2	15.2	13.4	13.9	14.5	12.3	13.4	14.2	15.8						14.1
8 鉄(mg/l)	—	0.3以下	0.30	0.24	0.24	0.28	0.32	0.27	0.31	0.32	0.27						0.28
9 マンガン(mg/l)	—	0.2以下	0.15	0.08	0.12	0.16	0.13	0.17	0.18	0.18	0.15						0.15

(注) ・工業用水協会標準値は(一社)日本工業用水協会によってとりまとめられた数値(参考)

・全硬度、全蒸発残留物、鉄、マンガンは環境計量士による測定

・1~4、7、8については、毎日測定の平均値を記載

・5、6、9については、毎月1回の測定値を記載

○試験項目解説

濁 度	濁り度合いを表す指標の一つです。 その水が濁っていればいるほど濁度は高くなり、その水が澄んでいればいるほど濁度は低くなります。
p H	水溶液の性質(酸性・アルカリ性の程度)を表す単位です。 中性はpH7で、これより低くなると酸性、高くなるとアルカリ性となります。
酸 消 費 量	アルカリ成分の量を表す指標で、これを炭酸カルシウムの量に換算して表したものです。
全 硬 度	水中のカルシウムイオン及びマグネシウムイオンの量を、これに対応する炭酸カルシウムの量に換算して、水1リットル当たりのミリグラム数で表したものです。
全 蒸 発 残 留 物	水の中に浮遊したり溶解したりして含まれているもので、蒸発乾固したときに残渣として得られたものをいいます。
塩 化 物 イ オ ン	塩化物が水に溶けているときの塩素分を指します。